

フライトアテンダントコース体験談



☆名前：代 亜矢子（シロ アヤコ）

☆年齢：21歳

☆コース期間：2004年

7月26日～10月15日

Q. このコースに参加しようと思った理由は何ですか？

1. 航空会社で働きたいと考えているため（特にフライトアテンダントに憧れているため）。
2. フライトアテンダントに要求される能力はたとえどのような職についても必要な能力だと思ったから。
3. 日本語に頼ることがないよう、日本人のいない環境で英語の力をつけたかったため。
4. 大学で「異文化コミュニケーション」という分野を専攻しており、その点でこのコースから何かヒントが得られるのではと思ったため。
5. コースに国内旅行、オーストラリア旅行なども含まれていると知り、楽しそうだったため。
6. Kiwiの友達が欲しかったため。

Q. どんなことを勉強していますか？

- * フライトアテンダントに関する一般事項
- * フライトディスティネーションに関する知識
- * 機内設備についての知識
- * 航空業界、技術の歴史
- * カスタマーサービス（文化、コミュニケーション、ワインコースなどを含む）
- * 事故対策と救急法

* 航空医学

* 航空機操作に関する一般知識 など。

Q. 特に楽しく、おもしろい授業は何ですか？

様々なお客様を仮定して行うロールプレイや、実際に航空会社を訪問する授業はとても面白くなっておもしろかったです。コミュニケーションの大切さや難しさを実感しました。2泊3日の国内旅行は様々なアクティビティーが盛り込まれていて、スリル満点でした。ワイン講習は1日だけだったのですが、ソムリエになった気分でした(笑)。

Q. 逆に、難しいと感じた授業は何ですか？

医学的な専門用語や、航空業界用語については覚えるのに苦労しています。これらはひたすら覚えなければならないので大変です。

また、実際に起こってしまった飛行機事故について学び、そのビデオを見なければならないことはつらいです。

Q. クラスメートの国籍は？

キウイ(クラスの半分)、スイス、韓国、南アフリカ、香港、サモア、フィジーなどパシフィックアイランドからの人々など。

★コース全体の感想★

とにかく大変で楽しいというのが今の正直な感想です。

大変というのは、私の英語力が乏しいせいなのですが、語学学校とはまったく異なるスピードで授業が進められるので、ついていくことができず、家での復習は欠かせません。また、1～2日で一つの単元が終わるのですが、その単元ごとにテストがあるので、授業中、気を抜くひまもありません..。

しかし、実際、授業自体はバラエティ豊かな内容をバラエティ豊かに(ゲームやロールプレイなど)学ぶことができ、元フライトアテンダントやグランドスタッフの先生方が、明るく楽しく教えて下さるので、いつも賑やかで笑いがたえません。

クラスメートも皆、人と接することが好きな人ばかりで、仲良く楽しく充実した毎日です。

★これから受講を考えている人へのアドバイス★

International Flight Attendant のコースなので、世界地理の基礎知識は持つておくべきだと思います。また、航空会社で使用される専門用語についてもあらかじめふれておくと楽かもしれません。

授業の内容は理解しやすいものだと思うので、気楽に、積極的に授業に参加すれば、きっと楽しいと思います。きちんとした服装(スーツ)とマナーは忘れずに！

あとは、いつも笑顔でいること！！私はこれだけで何とか乗り切っています(笑)。

笑顔は世界共通です。